

令和7年度春季・特別善行表彰受賞者決まる

春季 74の個人・団体を表彰

金章 44名・銀章 89名受賞

《春季善行・特別善行表彰》

特別善行表彰

選考委員会

令和七年度春季善行表彰選考委員会は、令和七年三月十四日（金）、グランドヒル市ヶ谷会議室において開催された。選考委員会には、富士道正尋氏（全日本中学校長会事務局長）、松信裕氏（株式会社 有隣堂 代表取締役会長）、島田益吉氏（全国支部ブロック会東京ブロック代表）、相澤・高田・山下副会長、島村・松本・石毛常務理事が出席した。（黒澤・濱武常務理事は書面により参加）

出席者の互選により富士道正尋委員が選考委員長に選任され、各支部及び諸官庁等から推薦された春季善行表彰の候補者について厳正な審査が行われた。

その結果、別掲の個人五十一名及び団体二十三の計七十四の個人・団体



が受賞者に選ばれた。

また、常務理事会において、特別善行表彰選考委員会を開催し、各支部をはじめ多くの推薦機関から推薦された候補者について、審査が行われ、別掲の善行金章四十四名、善行銀章八十九名が決定した。

なお、春季・特別善行表彰式は、五月十七日（土）、明治神宮参集殿において行われる予定である。



一般社団法人 日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: <http://www.zenkoukai.or.jp>
メール: info@zenkoukai.or.jp

奇数月1日発行
編集発行人 勝野 堅介

善行は、社会を
照らすともしび。

（敬称略）

I 青少年善行表彰

■ 公共生活への貢献

（北海道）鶴居村立鶴居中学校ボランティア委員会
（岩手県）岩手県立花巻農業高等学校環境科学科緑化系列（宮城県）菊田あかり、高橋芽久（栃木県）グリーンジュニアマーチングバンド（千葉県）千葉県立袖ヶ浦高等学校ボランティア同好会（東京都）台東区立蔵前小学校、台東区立根岸小学校第4・5・6学年（兵庫県）和太鼓サークル水龍童鼓会（岡山県）岡山県立笠岡工業高等学校VYS部

■ 事故防止

（宮城県）高千穂高校生徒会

■ 環境美化

（茨城県）境町立森戸小学校森戸小朝ボラもりもり隊（東京都）明光学童クラブ石神井公園、明光学童クラブ大泉学

■ 青少年指導

（群馬県）板場崇方、古川和花（東京都）横田京、木村春斗、中嶋桃々奈、松見柚亮、矢島審也、大内康平、菅原大誓、村山士竜、中村文彌、大森一輝（神奈川県）米山駿志（愛知県）大村珠嬉

■ 社会福祉

（栃木県）宇都宮大学障がい児支援サークルNOBA

■ 自然と文化財愛護

（愛知県）豊田市立上鷹見小学校（熊本県）山崎圭琳（大分県）大分市立鶴崎中学校鶴翼会

II 緊急時貢献表彰

■ 防犯

（熊本県）チョウダリカマル CHAUDHARY KAMAL

■ 事故防止

（新潟県）古川一博

■ 人命救助

（千葉県）山岡祥子、舞草紗也子（東京都）本間國範、佐藤汐穂（兵庫県）濱田芽維（鳥取県）石田秀虎、河本蓮友（熊本県）江藤晴飛、澁川陽紀、坂本陽羽斗、中村心咲、野口月歌、松岡弘樹、上田龍誠、中山大和、濱崎琉翔、白井湊、酒井心暉、高木俊輔、高山聡志（群馬県）阿久澤昊、加藤冨脩

III 国際貢献表彰

（茨城県）守谷市国際交流協会（MIFA）（千葉県）つばさインターナショナル・アカデミー（東京都）大田セーラムクラブ、日本語ボランティア「グループあだち」、グループ・リンク、言の葉、大沼孝三

IV 外国人善行表彰

（アメリカ）スワ・フワレス、ジャメイン・T・モズビー、マイケル・J・ウィリアムソン

◇ 善行金章四十四名

（北海道）野上則男（青森県）加川幸男（岩手県）三浦得也、西村義松（宮城県）庄司恵子、内池榮子、吉田日出子、鈴木忠雄（福島県）橋本トモイ（茨城県）吉田俊雄（群馬県）櫻井裕子、河野純夫、堀口克巳、宮地由高、反町なかり、池畠敏子、初山芳江、亀井大久、森田房子、大和英雄、志田洋遠、江戸文子、春山ゆかし、戸丸富美子、高野紘一、樋口義一、中村弘志、萩原スミエ、根岸三亀男、廣瀬雅敏（千葉県）宮崎豊（東京都）眞田玉雄（神奈川県）川浦恭子（山梨県）池川睦平（石川県）中島一夫（愛知県）熊谷さわ子、浅野香代子（大阪府）東博祐、赤塚勝己（兵庫県）芝和子、松田与志子（香川県）宮本隆義（福岡県）長谷川芳廣（熊本県）九谷新吾

◇ 善行銀章八十九名

（北海道）莊司勝次、斉藤一治、角丸正一、北川正美、佐藤美貴夫、村井守人、西清治、橋本政司（青森県）片見誠、佐々木敦子、柴田りつ、白澤盛幸（岩手県）伊藤公雄

（宮城県）大浦武夫、黒澤賢悦、吉村喜代子、井上宏、三浦義典、伊東あや子、渡邊栄（福島県）近藤幸夫、緑川夏江（栃木県）田代武昭（群馬県）和田忠文、日野原保男、福田幸正、河内正美、高橋新一、石川裕樹、糸井登志明、立川美加子、前田久枝、諸田三代子、馬場博、柴崎保彦、金子和美、高岸哲、町田里枝、平形和子、南雲しのぶ、狩野孝子（埼玉県）太田操（千葉県）金井芳夫（東京都）塩坂敦子、久保有子、高山與三郎、増淵愛子、渡辺光子、氏家清一（福井県）山田豊、歸山礼子（静岡県）中村文子、望月靖夫（愛知県）水梨豊三、三好サツキ、久野幸子、米丸美智留（大阪府）黒田全紀、深田恵美、中平雄幸、堀内久績、西盛、西沢佳子、安藤シゲミ、小山猛（兵庫県）荒井勲、岡本康夫、田口勲、古川清代美、山口孝司、福井一吉（広島県）西田祐三、藤田準二（香川県）土田忠芳、（福岡県）田添二朗、野田實元（佐賀県）鶴岩己（熊本県）村田政義、小山建夫、村田祐子（大分県）平山久夫、上野千鶴子、橋本寛治、尾畠春夫（沖縄県）赤嶺弘子、渡久地美代子、伊禮未子（神奈川県）梅原雄蔵、梅原紘明

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。

受賞者の 喜びの声

●● 秋季表彰 ●●

善行表彰を受賞して

岡山県岡山市

吉備の中山を守る会

会長 熊代 賢治

清少納言の枕草子でも紹介された「吉備の中山」。

吉備津彦命の墓とされ宮内庁が管理している「中山茶臼山古墳」、備中国の一宮「吉備津神社」、備前国の一宮「吉備津彦神社」などがあり神様の住む山です。

私たちの会は、この山の散策道や遺跡・史跡などの清掃・整備活動をしています。行政からは何の援助も受けず、二十四年間ボランティアで黙々と活動してきました。

善行表彰を受賞して

東京都葛飾区

加賀野 恵理子



この度、事故防止で令和六年度秋季善行表彰を賜り心より感謝申し上げます。

私はPTA活動の後、青少年委員を経験し、現在は民生児童委員として活動しております。これらの活動をしていく中で、多くの方の地域活動に感謝を受けました。

善行表彰を受けて

宮城県石巻市

村上 義勝



今回自然と文化財愛護で善行賞をいただき、地域の新聞でも活動が紹介され、仲間のみんなと長い間活動してきて良かったと心から喜んでいました。賞状と盾は地域の公民館に掲示してもらうことになりました。これからも頑張つて地域文化の継承と発展に尽くそうと決意を新たにしているところです。課題は若い力をどのように取り込み更に継続させるかです。すぐく励みになり、本当にありがとうございます。

この度、環境美化で令和六年度秋季善行表彰の栄誉をいただき心より感謝申し上げます。平成十四年春に妻の故郷である石巻市に居住し、早二十二年が過ぎました。

石巻市は、太平洋に開けた漁業・農業・工業とにぎやかな街でした。しかし、東日本大震災により街並みは一変し、家屋だけでなく街路樹や公園もなくなつてしまいました。



石巻市に居住するようになったところから、取得していた造園技能士の技能維持を目的に自宅周辺の街路樹や公園の樹木手入れを行い、街路樹や公

その中で、私は永年にわたり関つていく子供達の「安全」を強く願い、子ども達の見守りの必要性を感じ、登校時の「声かけ・挨拶」と交通整理の「旗ふり」のボランティアを行うことにしました。

二十年弱、通学路に毎朝立ち、「おはよう」、「行つてらっしゃい」の声かけを行い、見守る子ども達からパワーを貰います。これは私の元気の源です。国道沿いの通学路は、交通量も多く、安全確保には気を使うことが多々あります。しかし、この活動は、監視員の「通学路安全見守り隊」として認識されました。

昨今の社会情勢は車中心で、歩道を歩く子どもや高齢者には危険が多く、まだまだ交通整備が必要に思っています。地域の中で自分が出来る事に心を配り、安心安全に気をかけていくことは容易いことだとは思いますが、毎年、多くの方が善行表彰を受けていることも事実としてあります。

社会活動を実践することの難しさも感じます。私は「見守り」活動を続けていくなかで、地域の善行の輪が広がることを願いながら善行賞に恥じないよう、精進して参ります。明日もまた、元気な「おはよう」、「いつてきます」が響く街であることを切に願っております。

園の景観維持に努めてきました。東日本大震災により古い街から、新たに出来た復興住宅へと街の様子が変わつてしまい、古い街並みに残つた街路樹だけが手つかずで、歩行者はもろろん車の通行さえも邪魔していました。

震災後も技能維持と健康維持を目的とし、街路樹や公園の樹木手入れを行ってきましたが、この度、日本善行会より善行表彰受賞者となり身に余る思いです。感謝と奉仕の心を忘れず、地域に貢献できるように努力していきます。

最後に、日本善行会の益々の発展をご祈念申し上げます。御礼とさせていただきます。

善行表彰を受賞して

東京都港区

出野 綾子



この度、青少年指導で令和六年度秋季善行表彰を賜り心より感謝申し上げます。初めてこのような賞を頂き、驚きと感激で一杯です。

私は毎月指導員として、夜六時過ぎに秋葉原の駅の近くに警察の方と集まり、ゲームセンター、ハンバーガーショップ、カラオケ等々、中学生が行きそうな場所を目を凝らして見廻ります。

また、中学生がいた時は、ご家庭と連絡をとって細かくお話をさせて頂きます。とは言っても、夏場の六時台ではまだ空が明

●● 金 章 ●●

金章を受賞して

山口県岩国市

三浦 植男



小鳥のさえずりで目覚める頃となりました。この度、特別善行表彰金章を賜り厚くお礼申し上げます。

この年令になつてなお賞を授かるとは光栄と思ひます。昨年も子供二十人、保護者二十一人の参加で田植体験を催しました。子供たちは泥んこになつて歓声を上げながら植えていきました。田植の後、餅つき、猪汁交流会、家内手作りの牡丹餅も好評で楽しい交流会が開けました。子供たちは虫や

野の花、中には蛇をつかまえ、腕に巻きつかせる場面も見られ、子どもたちの頃を思い出した次第です。これからも集落の人と共同で子供たちの思い出づくりに努めたいと思つております。

明るく住みよい社会づくりを基本理念とした貴会の増々の御発展を祈念申し上げます。

支部だより

大分県大分支部

秋季善行表彰

伝達式の開催

大分県大分支部長

山崎 勝利

令和六年十二月十六日(月)、秋季善行表彰伝達式を大分市東部公民館に於いて、多くの在籍会員さん出席の下、午後二時から開催致しました。

本年度は、二団体と個人十七名、計十九名の方を表彰する事が出来ました。

先ず、集合写真、賞状の伝達です。伝達には毎回様々な活動経歴をお持ちの方々ですから、伝達する側もやや緊張気味です。

伝達も終わり、山崎支部長の祝辞、松井猛本部長の祝辞、二宮博市議会議長の祝辞と続き、本部からの祝電披露、大分市長からも祝電を頂きました。

最後に受賞者を代表して、自然と文化財愛護部門で受賞された橋本量太郎氏が謝辞を述べら

沖縄県支部

沖縄県支部伝達式

沖縄県支部 事務局長

金城 守



この度、令和七年二月二十一日(金)、日本善行会沖縄県支部の令和六年度秋季・特別表彰伝達式を執り行いました。今回、琉球新報社のご厚意により、大会議室をお借りすることができました。

伝達式は、渡慶次葉末子(とけし・はずえ)副支部長の開式あいさつ、糸数昌弘支部長の会長あいさつ、それから、岸本直也善行調査員から選考内容の報告があり、表彰となりました。

当日は、秋季表彰受賞者五名、特別表彰受賞者二名、役員四名、ご家族六名、記者一名、計十八名が参加され、厳粛な雰囲気のもと無事に伝達式を終えることができました。

その後の懇談会では、和気あいあいとした雰囲気の中、受賞の喜びを分かち合うひとときとなりました。

このたびは、本部の勝野堅介会長よりご祝電を賜り、誠にありがとうございました。事務局の皆様にはお手数をおかけしておりますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。



れ、式典は無事終了しました。

終了後、受賞者の皆さんに残つて頂き、日本善行会についてお話をしました。入会には、善行会を理解して頂くことが必要です。「善行章の重さ」と、名譽なこと、これからの自分自身の励みとなり、心も豊にもなること」等、また、「今日が社会奉仕活動の新たな出発の日です」と激励し入会を勧めました。

令和七年度は、新会員さんを迎え、共に活動が出来る事が楽しみです。



支部だより

青森支部

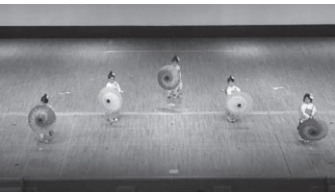
令和六年度伝達式と 青森支部 チャリティー公演

青森支部長 佐藤 令子

令和六年度春季特別
善行表彰伝達式と第
三十六回青森支部チャ
リティー公演を令和七
年二月十一日(火)青森
市民ホールで開催しま
した。

の言葉があり皆様方
から拍手喝采でした。
来賓御挨拶では、衆議
院長・西秀記様、青森
市長・津島淳様、青森
市議員・中田靖人様、
山善也様から感謝と
ましの御言葉を頂き、
賞者及び会員一同あ
らため「善行は社会を
照らすともしび」を誓
いました。

青森支部発足四十三年
目となりますが、芸能
チャリティー公演は第
三十六回を迎えまして、
その都度、青森市社会福



祉協議会会長・成田幾未
様へ三十六回目の寄附
金贈呈をいたしました。
これは第一回から続け
られていまして青森支
部の善行の一部です。

第三十六回青森支部芸
能チャリティー公演の
中身を簡単に説明して
みたいと思います。オー
プニングは、野木和保育
園園児の踊り披露、小学
生のレクダンス、中学生
のジャズダンス、ご婦人
方によるミュージック
ダンス等々、民舞踊、新舞
踊、着付舞、民舞踊と多
種多様な踊り、そしてカ
ラオケ、最後にはプロ
の津軽三味線奏者山上
進様の特別公演で、全
二十三種目を盛大に終
了することが出来ました。

芸能チャリティー公演
に際しては、ポスター、演
目プログラム、招待券を会
員による手作りであ
り、各種目のバック風景
も手作りで一種目事変



神奈川県川崎支部

第六回 関東ブロック交流会 川崎大会を開催して

神奈川県
川崎支部長 東田 乗治

コロナ禍から解放され
平常に戻りつつある昨



今、節分も過ぎた二月十
日(月)、関東北部では
雪の天候状態も心配さ
れましたが、中断され
ていた(一社)日本善行会
第六回関東ブロック交
流会川崎大会を開催す
る運びとなり、栃木県宇
都宮支部、群馬県前橋
支部、北毛支部、高崎支
部、千葉支部、埼玉支
部、神奈川支部(主催支部)
、川崎支部(主催支部)
の八支部、三十八名が参
加しました。

I部式典では会式の
ことばに始まり関東ブ
ロック代表島村弘子北
毛支部長、開催支部長
あいさつに続き来賓と
してご臨席を賜りまし
た日本善行会副会長山
下純雲子様並びに本部
事務局長野中修様より
ごあいさつを戴き更に
各支部長の紹介があり
ました。

又、講演会では最近特

に問題視されている事
柄をテーマとした現在
の詐欺「笑って学ぼう」
悪質商法退治術(古典
落語)と題して夢見亭
わっぱ師匠によるお話
がありました。

終了後の僅かな時間で
はありましたが支部長
会議を開催し次回のブ
ロック会議開催支部の
協議が図られ群馬県前
橋支部が担当する事と
なり二年以内の開催を
目標としました。

II部の懇親会は会場を
移して各支部の現状と
問題点について各々発
表があり、特に高齢化
と会員増強の難しさが指
摘されたが一部にはそ
れに対応する活動を展
開している事例等が報
告されました。

これまでのブロック交
流会は宿泊日程で開催
されていましたが、今回
は当支部の状況や日程



日本善行会のこれまで①

理事 小島 力

昭和十二年五月七日、
伊藤辰男氏が善行会(任
意団体)設立、初代理事
長に就任。

昭和十二年からは善行
児童の実話集「まこと」
等の発行、街をきれいに
する運動、親切運動、花
いっばい運動、働く女性
を対象とした人づくり活
動等を実施。

昭和二十四年八月に社
団法人組織(東京都知事
許可)となる。

安井誠一郎氏(東京都
知事)会長に就任。機関
誌「明るいニュース」を
発行。

昭和二十六年に第一回
善行表彰式が都庁に於い
て挙行されました。その
後、昭和三十九年から明
治神宮参集殿に於いて春
季、秋季善行表彰式が挙
行されています。

昭和四十年に総理府所
管となり、四十二年四月
に青少年研修所を開設
(銚子市)し、昭和五十
五年九月までの十三年間
青少年健全育成活動に努
めました。

昭和四十五年九月 皇
太子同妃両殿下御接見が
始まる。
昭和四十八年一月 社
団法人日本善行会と名称
変更。
平成二十六年四月 一
般社団法人日本善行会へ
移行。

《今回の想い出の写真》



①昭和五十年年度青少年善
行表彰式での東会長か
らの表彰状の授与。



③正面は現在、日本善行
会の事務局がある東京
交通会館。
手前右手の六階建ビル
は東京都庁東三号館(本
会事務局として三十五
年間使用)。平成九年六
月、東京都庁移転によ
り撤去された。



②昭和四十四年の長寿善行者が総理官邸を訪問し、
佐藤総理から激励され、代表から花束が贈られた。



訃報



本年二月十九日
(水)、日本善行会
石川県金沢支部長・
野村勇一氏(八十八
歳)が逝去されました。
野村勇一氏は、平
成二十八年から石川
県金沢支部長として、
会員増強と支部運営
に尽力するとともに、
日本善行会の発展に
貢献されました。
ここに謹んでご冥
福をお祈り申し上げ
ます。

訃報



本年三月十一日
(火)、日本善行会理
事・飯田勝男氏(八
十四歳)が逝去され
ました。
飯田勝男氏は、平
成二十四年から宮城
県支部長、平成二十
六年から日本善行会
理事として、会員増
強と支部運営に尽力
するとともに、日本
善行会の発展に貢献
されました。
ここに謹んでご冥
福をお祈り申し上げ
ます。

令和六年度第四回理事会の開催

三月二十八日（金）、令和六年度第四回理事会がグランドヒル市ヶ谷内会議室で開催された。勝野会長の挨拶の後、勝野会長が議長となり議事に入った。

【決議事項】

第一号議案

「令和七年度収支予算並びに事業計画」について
事務局から説明があり、質疑が行われ、原案どおり議決された。併せて事務局から、令和六年度の事業報告及び収支決算速報の報告があった。

第二号議案

「春季・特別善行表彰式」について
事務局から説明があり、質疑が行われ、原案どおり議決された。併せて事務局から、令和六年度の事業報告及び収支決算速報の報告があった。



り議決された。表彰式を五月十七日（土）、明治神宮参集殿にて開催する。

第三号議案

「理事会・定時総会」について
事務局から説明があり、質疑が行われ、原案どおり議決された。定時総会を六月十一日（水）、グランドヒル市ヶ谷にて開催する。

第四号議案

「表彰規程の改正」について
特別金章を七十名以内、銀章を百五十名以内とする改正が承認された。

令和七年度事業計画

令和七年三月二十八日（金）に令和六年度第四回理事会が開催され、令和七年度事業計画及び収支予算が左記の通り承認された。

一 表彰による
善行活動の推進

本会の春季・秋季善行表彰は、今年度で七十五回目となり、前年度までの表彰総数は五〇、六〇一件に達している。この善行表彰を受賞した多くの方々は、引き続き各地で善行活動を実践し、善行の輪を各地域に広げている。

また、春季及び秋季表彰に加えて、永年にわたって善行を継続している善行表彰受賞者への特別表彰（金章・銀章表彰）を昭和三七年度以降実施し、これまでに金章受賞者は四九二人、銀章受賞者は二、二四人となっている。

（一）春季・特別
善行表彰

実施時期

令和七年
五月一七日（土）

実施場所

明治神宮参集殿

（二）秋季善行表彰

実施時期

令和七年
十一月二九日（土）

実施場所

明治神宮参集殿

二 善行実践活動の
推進

善行実践活動は、社会を明るくする原動力であり、会の組織を挙げ、また、地域住民とも連携し

て、これに取り組み、善行の輪の拡大に努める。

三 長寿善行者の
秋篠宮皇嗣殿下
ご接見

この事業は、善行表彰受賞者が、秋篠宮皇嗣殿下からご接見の栄誉を賜る意義深いものである。この長寿善行者の御接見は、昭和四五年九月に実現し、皇太子殿下のご接見が平成三〇年まで続けられ、令和となつてからは秋篠宮皇嗣殿下のご接見となった。

四 広報啓発活動の
充実

情報化時代を迎えた今日、月刊紙「明るいニュース」やホームページが果たしている役割は大きい。「明るいニュース」の記事やホームページの充実を図って、各支部及び会員との連携の強化に努める。

五 組織と
財政基盤の強化

本会は、会員によって構成され、主に会員が拠出する会費によって運営されており、会員の増加が財政基盤の強化に直結している。また、事業を効果的に全国展開するためには、各都道府県に支部が設置される必要があることとなっている。

六 諸会議の開催

本会の定款に定められている会議には、総会、理事会及び常務理事会がある。また、定款には定

められていないものの、本会業務の連絡調整の場として支部長会が設けられている。

（一）総会

開催時期

令和七年
六月十一日（水）

開催場所

グランドヒル市ヶ谷

（二）理事会

第一回理事会

開催時期

令和七年
五月一七日（土）

（定款第三二条二項のみなし決議により第一回理事会に代えるべく手続き中）

第二回理事会

開催時期

令和七年
六月十一日（水）

開催場所

グランドヒル市ヶ谷

第三回理事会

開催時期

令和七年九月八日（月）

開催場所

グランドヒル市ヶ谷

第四回理事会

開催時期

令和八年三月下旬予定

開催場所

グランドヒル市ヶ谷

（三）支部長会

開催時期

令和七年
九月八日（月）

開催場所

グランドヒル市ヶ谷

（四）常務理事会

開催時期

随時

令和七年度収支予算書

単位：円

科 目	予算額	科 目	予算額
I. 事業活動収支の部		II. 投資活動収支の部	
1. 事業活動収入		1. 投資活動収入	
①会費収入	12,100,000	投資活動収入計	0
②寄付金品等収入	1,440,000	2. 投資活動支出	
③雑収入	365,000	特定資産取得支出	300,000
事業活動収入計	13,905,000	投資活動支出計	300,000
2. 事業活動支出		投資活動収支差額	-300,000
①事業費支出	17,582,000	III. 予備費支出	0
②管理費支出	7,225,000	当期収支差額	△ 11,202,000
事業活動支出計	24,807,000	前期繰越収支差額	102,566,265
事業活動収支差額	△ 10,902,000	次期繰越収支差額	91,364,265

支部活動に対する
助成金について

昨年九月の理事会において、「支部活動に対する助成金等に関する内規」を策定しました。この内規では、以下の内容を明確に規定しています。

一 支部運営全般の支
援助成

支部所属会員の会費の二〇％を助成します。

二 会費増支部に
対する助成

一 の助成に次の算定基準で算出した額を加えた額とする。当該年度と前年度の会費総額を比較

し、増分の会費総額に対して以下の割合を適用した金額を助成します。

○普通会員
および賛助会員の会費…
二〇％

○特別会員の会費…
三〇％

なお、運営経費の削減に伴い、従前行われていた新会員会費の助成を廃止しました。

会員の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入会のお誘い

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をお誘いください。

会員の種類

①普通会員（正会員）

個人年額 五千円

法人年額 一万円

②特別会員（正会員）

個人年額 一万円

法人年額 三万円

③賛助会員

個人年額 千円から

明るいニュース年間購読料五百円を含む

協賛広告

株式会社まむしプロダクション

代表取締役社長

千葉潤一



〒130-0005

墨田区東駒形 3-5-6 千葉ビル 2 階

☎ 03-3621-8080